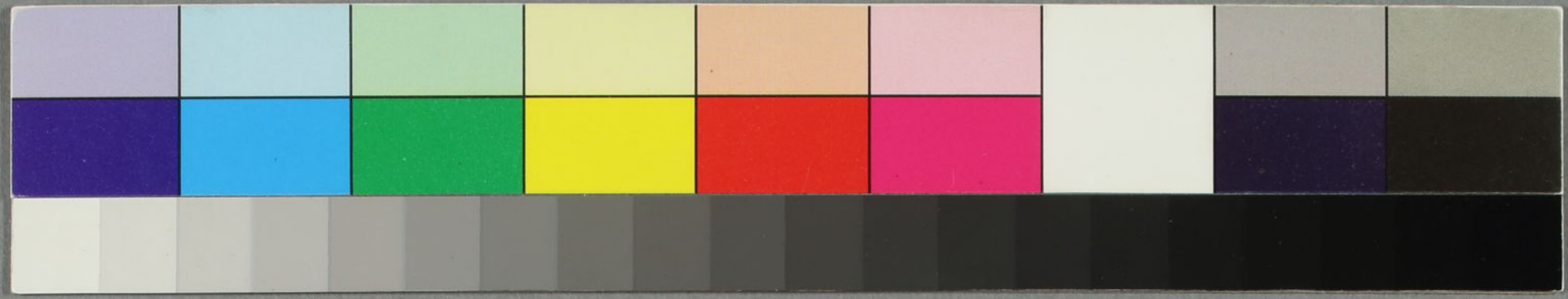


後者年御草
 後者年御草
 後者年御草

陶唐

特別
 千 13
 3849
 28





門子 13
葉 3849
巻 28

28

後者年録草 藝水堂

京之巻目錄

願取一座此年男

上中といふ矢つけく

夏も入まへはた

顔見世乃掛解

白述とん

のり後者の

舞臺子

心拂ひ

知り人たふさ

年純ほど



やあし目出たのか

先をま後の序書命と

亀を方代たての易やすみの

離れさああの

徳見物とくみものの

取沙とりさ法ほうの

い付いづりりの

西の海さいのうみの

東の二葉あづまのふたば居ゐ者もの同おな様さま

名代なしろ可かととままはは中な村むら千ち葉は

名代なしろ急いそ谷や茶ち屋や中な沢さわ村むら堂どうをを良よ

▲立役たちやく之の部ぶ

○立た立た居ゐ者ものおおままののどど

真ま吉きち 林はやし山やま小こ四よ角かく

上かみ吉きち 橋はし山やま四よ角かく三さん

上かみ吉きち 山やま中な村むら四よ角かく日ひ能に

上かみ吉きち 以も東とう滿まん 益えき日ひ元げん

上かみ吉きち 山やま中な村むら三さん角かく日ひ能に

上かみ吉きち 富士ふじ山やま松まつ三さん十じゅう角かく中な村むら元げん

とんがりと幾いくささととままののああまま

上上書 中村十彦 中村

上上書 心風斎十彦 中村

上上書 尾上彼右衛門 中村

上上書 松山三十彦 中村

上上書 沢村三郎 中村

上上書 松屋新十郎 中村

上上書 林山八十二 中村

上上書 桐治権九郎 中村

上上書 中村圓三郎 中村

上上書 友川中三郎 中村

上上書 山崎七八郎 中村

上上書 山中平十郎 中村

上上書 市川宗三郎 中村

上上書 中村文彦 中村

上上書 益殿又三郎 中村

上上書 上中村時彦 中村

上上書 中村時彦 中村

上上書 益殿又三郎 中村

上上書 上中村時彦 中村

上上書 中村時彦 中村

精い出さるるまじき白川石

かひひのいしとてさういふも

おもしろい様七ととあを勝

松山三十彦

沢村三郎

松屋新十郎

林山八十二

桐治権九郎

中村圓三郎

友川中三郎

山崎七八郎

山中平十郎

市川宗三郎

中村文彦

益殿又三郎

上中村時彦

中村時彦

益殿又三郎

上中村時彦

中村時彦

▲花車形之部
上上吉 氏橋千壽 氏橋

りてもこまの尾紅
▲若女形之部

上上吉 辰園久菊 辰園

何後でも仕やりの
上上吉 中村松代三郎 中村

このあつたやうな
上上吉 林山官良三郎 林山

あつたのつるあつた
上上吉 嵐和守野 中村

をまのあつたあつた
上上吉 沢村安三郎 沢村

あつたあつたあつた
上上吉 山下六三郎 山下

あつたあつたあつた
上上吉 中村千益 中村

上上吉 瀬川榮三郎 中村

はねのあつたあつた
上上吉 藤塚卯之吉 中村

はねのあつたあつた
上上吉 中村松長清 中村

あつたあつたあつた
上上吉 中村富之助 中村

あつたあつたあつた
上上吉 中村小三 中村

あつたあつたあつた
上上吉 中村右房 中村

あつたあつたあつた
上上吉 大和山仙助 中村

あつたあつたあつた
上上吉 山下象之助 中村

あつたあつたあつた
上上吉 嵐千所 中村

▲中村社及びその分
 一嵐初分次 一和山堂脚 一嵐重代松 一三井徳流屋 一嵐川景江 一甲村景江 一並木長者

▲沢村社及びその分

一龜谷十次屋 一萩野惣右衛門 一津川兵助 一市川右衛門 一龜谷信長 一龜谷市松 一萩野小右衛門 一小倉山定次 一多田清次 一津川喜助 一尾上久兵衛 一嵐小三郎 一嵐岩松 一小倉山源次 一尾上若十郎 一沢村六三郎
 小出 立役 坂東 三郎 中村 九郎 同 小出 立役 坂東 三郎 同 小出 立役 坂東 三郎 同

開口

此の社は... 中村社... 沢村社... 嵐初分次... 和山堂脚... 嵐重代松... 三井徳流屋... 嵐川景江... 甲村景江... 並木長者... 龜谷十次屋... 萩野惣右衛門... 津川兵助... 市川右衛門... 龜谷信長... 龜谷市松... 萩野小右衛門... 小倉山定次... 多田清次... 津川喜助... 尾上久兵衛... 嵐小三郎... 嵐岩松... 小倉山源次... 尾上若十郎... 沢村六三郎... 小出 立役 坂東 三郎 中村 九郎 同 小出 立役 坂東 三郎 同 小出 立役 坂東 三郎 同

あるに... 川安の... 日にも... 持の... 白... の... 小...

方... 揚... 小... 一... 小... 及... 多... 小... 小... 小...



上土 山下系之物
上土 嵐 十所

宝曆十二年午正月吉日
千秋万歳樂

八文字屋公九郎板

一京四條北側芝居初日
高取見世藝不
左來二の習之
中とまう
分とまう

京四條通 名代
北側芝居 本伏那川 若松

大坂 立役 山下又太島

日 日 坂川十良彦

日 日 小川吉冬良

日 日 市川七之丞

日 日 江戶坂東右衛門

日 日 坂東俊兵衛

日 日 坂東助之助

日 日 大井川又藏

日 日 松本友十良

日 日 山下新次良

日 日 今村正之丞

日 日 今村七三郎

大坂 立役 今村七三郎

京

江戸 善女飛

嵐子之助

大坂 日

大和川 善女

同 日

山下 善女

大坂 日

富川 善女

京 日

佐渡 善女

京 善女飛

大和川 明石

京 通外

信濃 善女

京 通外

以上 其外 畧之

以上 其外 畧之

新板 びんかか

他者 白鳥

上り かん入

自笑

株本人 磨誕生記

全部五卷

右之 中 丙午 二月 三日より 本出 庄

板之 八文字 至 八文字

後者 年 越 草

藝 亦 定

大坂 卷 目 録

分 記 衆 衆 龍 見 世 々

十日 暇 ぬ 道 越 越 越

こ 分 先 ぶ ぬ

か どの の あり あり

入 分 衆 衆 の 音 ね ね

も づ ち の る 敷

お け け け け

ひ の こ 連 中

後 三 芝 居 終

終 一 巻

三 日 此 人 ぐ ぐ

水 堀 江

上上吉 友川八彦 三株 社
仕切ハ逸風のりつご

上上吉 竹中 三株 社
藝ハ切若かれどこの別意踏

上上吉 中山 末助 三株 社
世後ハあつとんが浮遊

上上吉 三條 定助 日社
市川氏のゆび人とのり

極上吉 中山 彰九郎 三株 社
一社ノ志中へつごの御機

▲実意之部
上上吉 中村 敏之助 三株 社
初めく味増付のしきとて今

上上吉 桐山 俊治 中社
つてもうハあつとんが御機

▲款汲之部
上上吉 深川 比呂清 三株 社
数ハ初ごとのちたあつとんが御機

上上吉 浪尾 為十郎 中社
を奉ハ物とてまうぬ御機

上上吉 坂東 義又郎 日社
け後ハ波ハむらりんあつとん

上上吉 山下 次郎 三株 社
のゆ小橋のあつとんが御機

上上吉 三株 友之助 日社
定て今後見がらまのち松下孩子

上上吉 相模 谷檀十郎 中山 社
ユダ族のちてお西のりつご

上中吉 高次郎 中 上 若井 長五郎 三
上 若川 若丸 三 上 中村 友十郎 中

上中吉 川 友丸 三 上 山科 新彦 中
上 市川 善道 中 上 沢村 信十郎 三

上 極 雲 御 中
▲乃外 飛之部

上上吉 大雲 百助 三株 社
セのふりつとよあつとんが御機

上上吉 大雲 百助 三株 社

上上吉 大雲 百助 三株 社

上上吉 大雲 百助 三株 社

▲二村産及子之分

一生得金化とて一耕山小五良今今
中村修家とて一小登川布良とて今
小登川素景とて一婦川收治とて今
大和川右保とて一婦川南松とて今
大和七五とて一着川素良とて今
中村虎市とて一中村素良とて今

▲中山産及子之分

一鼠尾とて一竹崎三又とて今
一梯山とて一布山とて今
一竹崎全とて一中村條之助とて今
一山下とて一菅沢松とて今
一山とて一山とて今

大坂濱三芝居惣取共同源

竹回道江大極産
石井飛騨極産
亀谷肥後極産

▲立坂家魚款後乃亦於年唱雜

極上吉 竹回与市 云并丸

大上吉 竹回己之助 竹回丸

大上吉 竹回全吉 云并丸

大上吉 三井他 竹回丸

大上吉 竹回八 云并丸

大上吉 竹回中 日丸

大上吉 竹回福 竹回丸

大上吉 龜谷 竹回丸

大上吉 龜谷 竹回丸

大上吉 龜谷 竹回丸

大上吉 龜谷 竹回丸

大上吉 龜谷 竹回丸

大上吉 龜谷 竹回丸

大上吉 龜谷 竹回丸



徳川実成徳与野鑑
三徳徳
三徳徳

年九十九

柳川初四
とるへて

先小六
先三五



山下
三平

山下三平



山下三平
とるへて

竹中

竹中

徳川
三平

徳川三平



川原
三平

川原三平

中村
三平



久米
三平

久米三平

かたし冠其ききもの高揚を以てはるは徳物
はぬれは権を重んじては速に氣はたつた
に於ては人々を為すは出金にのりて是
にこそ天原の事とて是は我子の事なり
のりてははるは徳物を重んじては速に氣はたつた
に於ては人々を為すは出金にのりて是
にこそ天原の事とて是は我子の事なり
のりてははるは徳物を重んじては速に氣はたつた
に於ては人々を為すは出金にのりて是
にこそ天原の事とて是は我子の事なり

▲冥途之部

上言 中村敏太郎
此の事は冥途の事なり
冥途の事なり

徳川幕府の御用金に類するもの

上上 山下金形 中宛

○ 御用金に類するもの

○ 御用金に類するもの

○ 御用金に類するもの

○ 御用金に類するもの

○ 御用金に類するもの

上上 ○ 御用金に類するもの

○ 御用金に類するもの

○ 御用金に類するもの

○ 御用金に類するもの

○ 御用金に類するもの

○ 御用金に類するもの

○ 御用金に類するもの

○ 御用金に類するもの

○ 御用金に類するもの

○ 御用金に類するもの

○ 御用金に類するもの

○ 御用金に類するもの

上上 ○ 御用金に類するもの

上上 ○ 御用金に類するもの

上上 ○ 御用金に類するもの

上上 ○ 御用金に類するもの

上上 ○ 御用金に類するもの

上上 ○ 御用金に類するもの

上上 ○ 御用金に類するもの

上上 ○ 御用金に類するもの

上上 ○ 御用金に類するもの

上上 ○ 御用金に類するもの

上上士 婦川新正師一拜

既而為教を授けられたるは此の故に其の
大光の徳に五年の功を以て其の徳を
この世にも教へておられること

上上 叶 山風久年本堂中宛

既而此の故に其の徳に五年の功を以て
孫の徳にその功を以て其の徳を以て

その功の功に其の徳に五年の功を以て
惣巻軸 立後


極上吉 中村右衛門守光

既而四年の功に其の徳に五年の功を以て
おびたて其の徳に五年の功を以て其の徳を以て
極上吉の功に其の徳に五年の功を以て
その功の功に其の徳に五年の功を以て
その功の功に其の徳に五年の功を以て

既而四年の功に其の徳に五年の功を以て
おびたて其の徳に五年の功を以て其の徳を以て
極上吉の功に其の徳に五年の功を以て
その功の功に其の徳に五年の功を以て
その功の功に其の徳に五年の功を以て
その功の功に其の徳に五年の功を以て
その功の功に其の徳に五年の功を以て
その功の功に其の徳に五年の功を以て
その功の功に其の徳に五年の功を以て
その功の功に其の徳に五年の功を以て

○ 叔父の徳に其の徳に五年の功を以て
既而四年の功に其の徳に五年の功を以て
おびたて其の徳に五年の功を以て其の徳を以て
極上吉の功に其の徳に五年の功を以て
その功の功に其の徳に五年の功を以て
その功の功に其の徳に五年の功を以て

上上書  龜谷松尾神 龜社

上上書  龜谷長者堂 日社

發日後... 龜谷長者堂... 松尾神... 龜社

上上書  竹田寺三松 龜社

上上書  竹田長者 竹田社

上上書  竹田万六 日社


改日... 竹田万六... 龜谷長者堂... 松尾神... 龜社

上上書  龜谷虎屋長者 龜社

上上書  竹田九之助 龜社

改日... 竹田九之助... 龜谷長者堂... 松尾神... 龜社

上上書  龜谷十吉 龜社

上上書  龜谷清吉 日社

改日... 龜谷清吉... 龜谷長者堂... 松尾神... 龜社

上上書  竹田友三郎 龜社

上上書  竹田俊吉 日社

改日... 竹田俊吉... 龜谷長者堂... 松尾神... 龜社

上上書  角谷榮松 龜社

上上書  龜谷万助 日社

改日... 龜谷万助... 龜谷長者堂... 松尾神... 龜社

上上書 竹田守八 竹田元
 上上書 竹田伴松 竹田元
 上上書 竹田十郎 竹田元

上上書 竹田守八 竹田元
 上上書 竹田伴松 竹田元
 上上書 竹田十郎 竹田元

上上書 竹田守八 竹田元
 上上書 竹田伴松 竹田元
 上上書 竹田十郎 竹田元

上上書 竹田守八 竹田元
 上上書 竹田伴松 竹田元
 上上書 竹田十郎 竹田元

上上書 竹田守八 竹田元
 上上書 竹田伴松 竹田元
 上上書 竹田十郎 竹田元

上上書 竹田守八 竹田元
 上上書 竹田伴松 竹田元
 上上書 竹田十郎 竹田元

上上書 竹田守八 竹田元
 上上書 竹田伴松 竹田元
 上上書 竹田十郎 竹田元

上上書 竹田守八 竹田元
 上上書 竹田伴松 竹田元
 上上書 竹田十郎 竹田元

上上書 竹田守八 竹田元
 上上書 竹田伴松 竹田元
 上上書 竹田十郎 竹田元



竹田守八
 竹田伴松
 竹田十郎
 竹田元


上上  竹田八三布 竹田

上上  竹田吉屋 吉屋


 竹田吉屋 吉屋

 竹田吉屋 吉屋


 竹田吉屋 吉屋


 竹田吉屋 吉屋

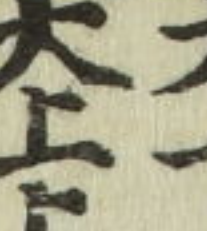
 竹田吉屋 吉屋


 竹田吉屋 吉屋

 竹田吉屋 吉屋


 竹田吉屋 吉屋

 竹田吉屋 吉屋

 竹田吉屋 吉屋


 竹田吉屋 吉屋


 竹田吉屋 吉屋

 竹田吉屋 吉屋

 竹田吉屋 吉屋


 竹田吉屋 吉屋


 竹田吉屋 吉屋

 竹田吉屋 吉屋

 竹田吉屋 吉屋

 竹田吉屋 吉屋


 竹田吉屋 吉屋

 竹田吉屋 吉屋

 竹田吉屋 吉屋

 竹田吉屋 吉屋

 竹田吉屋 吉屋

 竹田吉屋 吉屋

 竹田吉屋 吉屋

 竹田吉屋 吉屋

上上吉 市山 竹田

上上吉 市山 竹田

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

上上吉 山下 三八

六上吉 風 方 入 帝

上上吉 菽 宜 龜 菊

上上 中村 富 萬 家 谷

不出 羨 祿 中村 小 伴 三

改 旨

△西乃及名堂曆三三季乃於攝攝乃於
此乃及名堂曆三三季乃於攝攝乃於
此乃及名堂曆三三季乃於攝攝乃於
此乃及名堂曆三三季乃於攝攝乃於
此乃及名堂曆三三季乃於攝攝乃於

△年乃及名堂曆三三季乃於攝攝乃於
此乃及名堂曆三三季乃於攝攝乃於
此乃及名堂曆三三季乃於攝攝乃於
此乃及名堂曆三三季乃於攝攝乃於
此乃及名堂曆三三季乃於攝攝乃於

△年乃及名堂曆三三季乃於攝攝乃於
此乃及名堂曆三三季乃於攝攝乃於
此乃及名堂曆三三季乃於攝攝乃於
此乃及名堂曆三三季乃於攝攝乃於
此乃及名堂曆三三季乃於攝攝乃於

△年乃及名堂曆三三季乃於攝攝乃於
此乃及名堂曆三三季乃於攝攝乃於
此乃及名堂曆三三季乃於攝攝乃於
此乃及名堂曆三三季乃於攝攝乃於
此乃及名堂曆三三季乃於攝攝乃於

△年乃及名堂曆三三季乃於攝攝乃於
此乃及名堂曆三三季乃於攝攝乃於
此乃及名堂曆三三季乃於攝攝乃於
此乃及名堂曆三三季乃於攝攝乃於
此乃及名堂曆三三季乃於攝攝乃於

▲西道は去年自天候三時...
 中より美形の出動...
 の後...
 日...
 ▲...
 年...
 宗...
 年...
 ▲...
 宗...
 年...
 ▲...
 宗...
 年...

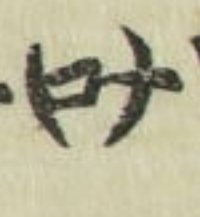
▲...
 宗...
 年...
 ▲...
 宗...
 年...
 ▲...
 宗...
 年...
 ▲...
 宗...
 年...
 ▲...
 宗...
 年...

上上吉



尾上佐吉

上上吉



叶嵐伴勢野

上上吉



叶嵐玉の井

上上



二林大十帝

小出の巻に山嵐小付

百九十四

▲此巻の巻に年系道長巻出巻の
中巻の巻に年系道長巻出巻の
出巻の巻に年系道長巻出巻の
出巻の巻に年系道長巻出巻の

▲此巻の巻に年系道長巻出巻の
中巻の巻に年系道長巻出巻の
出巻の巻に年系道長巻出巻の
出巻の巻に年系道長巻出巻の

▲此巻の巻に年系道長巻出巻の
中巻の巻に年系道長巻出巻の
出巻の巻に年系道長巻出巻の
出巻の巻に年系道長巻出巻の

▲此巻の巻に年系道長巻出巻の
中巻の巻に年系道長巻出巻の
出巻の巻に年系道長巻出巻の
出巻の巻に年系道長巻出巻の

▲此巻の巻に年系道長巻出巻の
中巻の巻に年系道長巻出巻の
出巻の巻に年系道長巻出巻の
出巻の巻に年系道長巻出巻の

▲此巻の巻に年系道長巻出巻の
中巻の巻に年系道長巻出巻の
出巻の巻に年系道長巻出巻の
出巻の巻に年系道長巻出巻の



松の
岩の
若の
若川の
荒の
松の
下の
松の
井の
松の
田の
新の
七の



松の
岩の
若の
若川の
荒の
松の
下の
松の
井の
松の
田の
新の
七の

秘名を言物同様にしるべきの事あり
 勅書が所記に及ぶ事は初めに大綱
 写し終るに及ぶ事は初めに大綱
 ▲千石母を辰手系流記に及ぶ事
 未だ全書に及ぶ事は初めに大綱
 く其の終りの事あり

▲及ぶ事系流記に及ぶ事あり
 及ぶ事系流記に及ぶ事あり
 ▲又及ぶ事系流記に及ぶ事あり
 及ぶ事系流記に及ぶ事あり
 ▲及ぶ事系流記に及ぶ事あり
 及ぶ事系流記に及ぶ事あり
 ▲及ぶ事系流記に及ぶ事あり
 及ぶ事系流記に及ぶ事あり
 ▲及ぶ事系流記に及ぶ事あり
 及ぶ事系流記に及ぶ事あり
 ▲及ぶ事系流記に及ぶ事あり
 及ぶ事系流記に及ぶ事あり

役者年越草 藝品定

江戸巻目録

わらわらう 箱とて

下り 役者の家へ

幕分れ 吉例

せうしれ ゆうり

わけと 案あり

為毒乃 石物

雲昌れ 斬馬 又き

控の 元統 又き

悪人と 拂ふ

荒るは 法

志らうし

出で得ればはく福を

婦ははかまき 幸乃笑

終るを物さのんさる

乃知形のは合

終れ目らうらのゆけ

らん乃空

のつるかや海流

雨はさる

あり終るに形前

或道より立て書

物らあふん ちかお

見終るの招る年

さうくの致をあひく

江戸三芝居惣役者目録

さうの町 中村勘三郎

ふさの町 市村右太衛門

こびの町 夷田勘次郎

▲五段之氷

○凡立芝居津路のよゝのど

極上書 市川團十郎

上上書 市川團十郎

上上書 尾上兼次郎

上上書 中村七三郎

上上書 富沢辰十郎

上上書 市川雷蔵

殊判のふいふさうの一世の

上妻 沢村松十郎 妻見

上上 市川茂十郎 中見

上上 大谷鬼 沢見

上上 中村傳 妻見

上上 中村仲 妻見

上上 尾上妻又郎 妻見

上上 坂東久三郎 日見

上中 中村七 日見

上中 中村吉彦 妻見

上中 中村松十郎 妻見

上中 中村松十郎 妻見

上中 中村松十郎 妻見

上上 沢村宗十郎 妻見

上上 坂田守八郎 日見

上上 沢村吉右衛門 妻見

上上 松中善右衛門 妻見

上上 中島三南 妻見

上上 大谷廣八 妻見

らう切の堀いんもの屋をり

のりいん池もつ柏あま

十丁流とまの付ひきり木

八百箇のかりみある水車

ありのくあうん包の社也

尾上妻又郎 妻見

坂東久三郎 日見

中村七 日見

中村吉彦 妻見

中村松十郎 妻見

中村松十郎 妻見

沢村宗十郎 妻見

坂田守八郎 日見

沢村吉右衛門 妻見

松中善右衛門 妻見

中島三南 妻見

大谷廣八 妻見

長谷川吉右衛門 妻見

長谷川吉右衛門 妻見

上 大谷園後 中村

上 坂田九十節 坂田

上 坂東又三節 坂東

上 後金平九節 中村

上 久湯十節 日

上 中池田六中 中

上 中村徳又良中 中

上 沢村大流市 上

上 中村徳又良中 上

上 大谷力茂 上

上 坂東後良 上

上 坂井源 上

上 坂田團八 上

上 沢村徳又良 上

上 沢村徳又良 上

上 市川久 中

上 市川松 上

上 市川松 上

上 市川松 上

上 市川松 上



Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dense, flowing style across the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dense, flowing style across the page.

じはのりて然のたひをば深き物負
とふ深きをてかたの者なるありて
道徳をば深きをば深き物負
道徳をば深きをば深き物負

上上吉 仙 中村助入席 弟村

此の者世間がくは深き金神は深き
深き者深きをば深き物負
深き者深きをば深き物負
深き者深きをば深き物負

上上吉 仙 中村助入席 弟村
此の者世間がくは深き金神は深き
深き者深きをば深き物負
深き者深きをば深き物負
深き者深きをば深き物負

上上吉 仙 中村助入席 弟村
此の者世間がくは深き金神は深き
深き者深きをば深き物負
深き者深きをば深き物負
深き者深きをば深き物負

此の如く又も其の如く... 此の如く又も其の如く... 此の如く又も其の如く...

上上士 ① 沢村者を重んずる

此の如く又も其の如く... 此の如く又も其の如く... 此の如く又も其の如く...

此の如く又も其の如く... 此の如く又も其の如く... 此の如く又も其の如く...

此の如く又も其の如く... 此の如く又も其の如く... 此の如く又も其の如く...

上上士 ② 松中者重んずる

此の如く又も其の如く... 此の如く又も其の如く... 此の如く又も其の如く...

▲ 秋波之水

上上吉 中洛三浦區區見

此乃其以公出以の三浦區區見
て其の公出以の三浦區區見
今其の公出以の三浦區區見
秋波之水也其の公出以の三浦區區見
其の公出以の三浦區區見
上上十 ⊕ 大谷唐八 唐八

此乃其以公出以の三浦區區見
て其の公出以の三浦區區見
今其の公出以の三浦區區見
秋波之水也其の公出以の三浦區區見
其の公出以の三浦區區見
上上十 ⊕ 大谷唐八 唐八

此乃其以公出以の三浦區區見
て其の公出以の三浦區區見
今其の公出以の三浦區區見
秋波之水也其の公出以の三浦區區見
其の公出以の三浦區區見
上上 ⊕ 大谷玉 唐八

此乃其以公出以の三浦區區見
て其の公出以の三浦區區見
今其の公出以の三浦區區見
秋波之水也其の公出以の三浦區區見
其の公出以の三浦區區見

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or a page from a diary. The text is written vertically from right to left. It contains several lines of text, with some characters enclosed in small boxes, possibly indicating specific words or names. The ink is dark and the paper shows signs of age.

Handwritten text in a cursive style, continuing from the previous page. It features similar vertical writing and includes some boxed characters. The text appears to be a continuation of the narrative or correspondence on the adjacent page.

上上書 藤川大友

上吉 ① 小坂川市之虫

② 中村松

③ 三條松

④ 高次門

⑤ 萩道

⑥ 市村

⑦ 市村

⑧ 市村

⑨ 市村

⑩ 市村

⑪ 市村

⑫ 市村

⑬ 市村

⑭ 市村

⑮ 市村

▲太夫元之部

上吉 ① 中村松

② 市村

③ 市村

④ 市村

⑤ 市村

⑥ 市村

⑦ 市村

⑧ 市村

⑨ 市村

⑩ 市村

⑪ 市村

⑫ 市村

⑬ 市村

⑭ 市村

⑮ 市村

Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect. The text is arranged in approximately 15 horizontal lines across the page.

Handwritten text in a cursive script, similar to the right page. It includes several circled characters and a boxed section at the bottom left.

上上吉 (三) 夷田劫弥

Boxed text at bottom left: Handwritten text

りてのあはれの奥田三郎の宗海新う
の南村のくせの半村のきとと隣に
てこそいふ事とていひ

○いふ事とていひのあはれ

云々津二の終り

白雲

作者

自笑

云々津二の終り

後者より決全義三冊

附出来栄の五行言と撰人の初め

長巻へ入る位約へ上上吉の極ど久

衣巻二月前夜のみ出やゆらそ
きとていひのあはれの半村のきとと隣に

宝曆十三年正月吉日

宗書所せのあはれ

八巻の板

